



CMS実装7つのステップ

Adobe Experience Manager Sitesを 迅速に導入するプレイブック

アドビ CXM (顧客体験管理) ガイド



CMSによる業務効率化

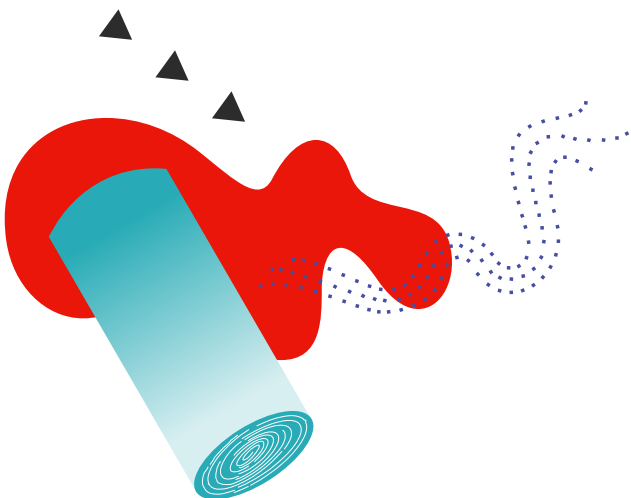
デジタル変革を促進し、優れた体験の提供に要する時間を短縮するために、デジタル基盤を活用しましょう。豊富な経験を持つアドビの知見と、ダイナミックで先進的、かつ生産性向上に役立つCMSが役立ちます。

世界中の数千もの企業が、Adobe Experience Managerで以下を実現しています。

- ・ コンテンツ配信を高速化
- ・ チャンネル全体でパーソナライズされた体験を構築
- ・ クリエイティブソフトウェアとマーケティングソフトウェアを単一の基盤に統合
- ・ デジタルアセットの価値を最大化
- ・ データインサイトとマシンラーニング（機械学習）を利用して、カスタマージャーニーを構築、改善
- ・ 俊敏性と拡張性を高めるクラウドで、信頼性と安全性を向上

“ 以前は、webサイトの1文字を変更するだけでも、開発者と一緒に作業する必要がありました。Adobe Experience Managerを利用することで、待ち時間に伴う隠れたコストをほぼ排除できたのは大きなメリットです”

花王株式会社



目次

豊富な経験にもとづくAdobe Experience Manager Sitesの実装プレイブック	4
ステップ1:チームの編成とトレーニング	6
ステップ2:ユーザーエクスペリエンス(UX)要件、コンテンツアーキテクチャ、コンテンツ分類基準の定義	7
ステップ3:オンボーディングとプロビジョニングの実施	7
ステップ4:プラットフォームの設定とカスタマイズ	8
ステップ5:ローンチの準備	9
ステップ6:本番稼働	10
ステップ7:フェーズ2を計画	10
実装計画	11



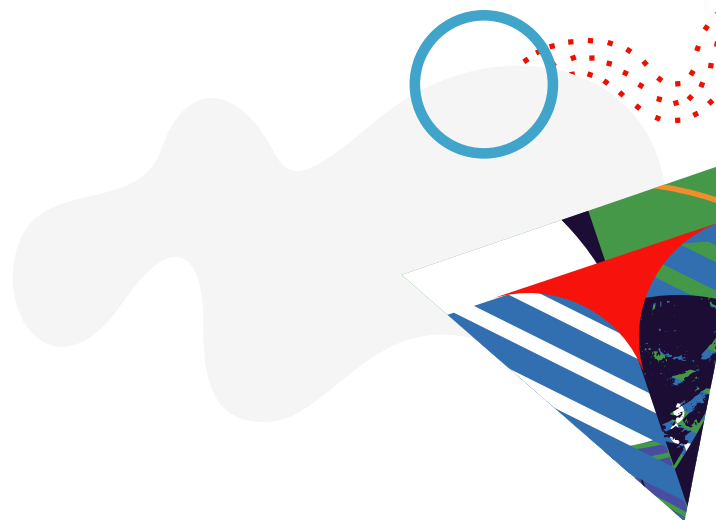
アドビの実績によるAdobe Experience Manager Sites実装のプレイブック

企業のwebサイトは、顧客向けだけではなく限りません。社外のパートナー企業や取引先企業、自社の従業員にとっても重要な役割を果たします。Adobe Experience Manager Sitesは、マーケティングから、コマース、カスタマーサービスに至るまで、ビジネスのあらゆる側面に対応します。複数の領域で優れた効果を発揮し、オンラインコンバージョン、売上、平均注文金額、ネットプロモータースコア、複数の生産性指標など、幅広い領域でそれぞれの評価指標の向上に寄与します。

そうした成果をいち早く達成するには、導入に要する期間が短いほど有利です。「Digital Foundation Blueprint」を作成したのはそのためです。これはAdobe Experience Manager Sitesを迅速に実装するための、ローコード型の手法です。容易に設定およびカスタマイズできる既定コンポーネントを利用し、開発の手間を最小限に抑えます。

Digital Foundation Blueprintは、顧客企業の適用例の大半をサポートし、時間のかかるカスタム開発の必要性を低減します。これにより、迅速な導入と価値創出を実現します。独自のビジネスモデルやコンテンツモデルを有する一部の大規模な企業では、より多くのコード開発が必要になる場合もありますが、ほとんどの企業では90日以内にwebサイトを立ち上げることができます。

このCXMガイドでは、アドビが経験した多くのCMS導入支援から生まれたDigital Foundation Blueprintに従い、導入を推進する7つのステップを解説します。

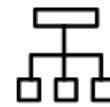


Digital Foundation Blueprintの7つのステップ

ステップ1: チームの編成とトレーニング



ステップ7: フェーズ2を
計画



ステップ2: ユーザーエク
ス
ペリエンス (UX) 要件、
コンテンツアーキテクチャ、
コンテンツ分類基準の定義



ステップ3: オンボーディングと
プロビジョニングの
実施



ステップ4: プラットフォームの
設定とカスタマイズ



ステップ5: ローンチの準備



ステップ6: 本番稼働

Adobe Experience Manager Sitesのヘッドレス実装

独自の要件を有する企業では、ヘッドレス開発モデルを選択することができます。Adobe Experience Manager Sitesでは、他の多くのアドビ製品と同様に、アジャイル開発プロセスを利用して、カスタムのフロントエンドを実装できます。さらに、アドビでは、ヘッドレス実装をサポートするために、すぐに使用できる一連のコンポーネントも提供しています。

[ヘッドレス実装に関する詳細は、こちらをご覧ください。](#)

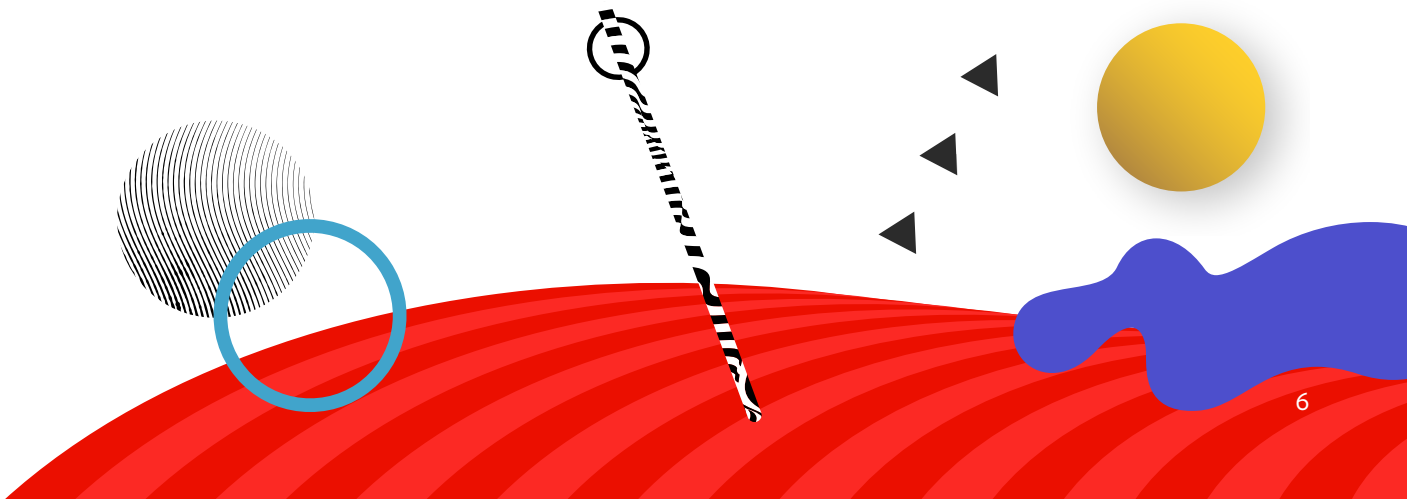
ステップ1: チームの編成とトレーニング

Digital Foundation Blueprintを活用すれば、大規模な実装チームは必要ありません。次のような比較的少人数のグループで成果を達成することができます。

- プロジェクトマネージャー
- 1人以上のフロントエンド開発者と、実装手法によっては1人のバックエンド開発者
- プロビジョニングやセキュリティなどを担当するITスペシャリスト
- デジタルエクスペリエンスのオーナーであるマーケティング部門からの代表者
- Adobe Experience Manager Sitesを日常的に使用する、1人以上の実務担当者（編集や組み立てを担うコンテンツオーサーや、企画や指揮を担うコンテンツプロデューサー）

チームには、Adobe Experience Manager Sitesとコアコンポーネントに関する実務的な知識が必要です。実装チームのメンバーをすばやくトレーニングするために、次の資料を用意しています。

- [Adobe Experience Manager Sitesのチュートリアル](#)
- [クラウドサービスのチュートリアル](#)



ステップ2:ユーザーエクスペリエンス (UX) 要件、コンテンツアーキテクチャ、コンテンツ分類基準の定義

必要なチームメンバー: マーケター、コンテンツオーサー、フロントエンド開発者、プロジェクトマネージャー

タスクとヒント

- ・ デジタルエクスペリエンスのオーナーであるマーケティング部門は、顧客の観点からエクスペリエンスのルック&フィールを定義する必要があります。そうしたエクスペリエンスは、顧客セグメントによって異なる場合があります
- ・ マーケターがエクスペリエンスを定義したら、コンテンツオーサーは、それを実現するために必要なことを特定します。理想的には、コンテンツアーキテクチャと呼ばれる、制作する必要があるwebページの種類と、各ページが提供する機能や役割のリストを作成する必要があります
- ・ フロントエンド開発者は、コンテンツオーサーと協力して、必要となるページ機能が実装できるようにします

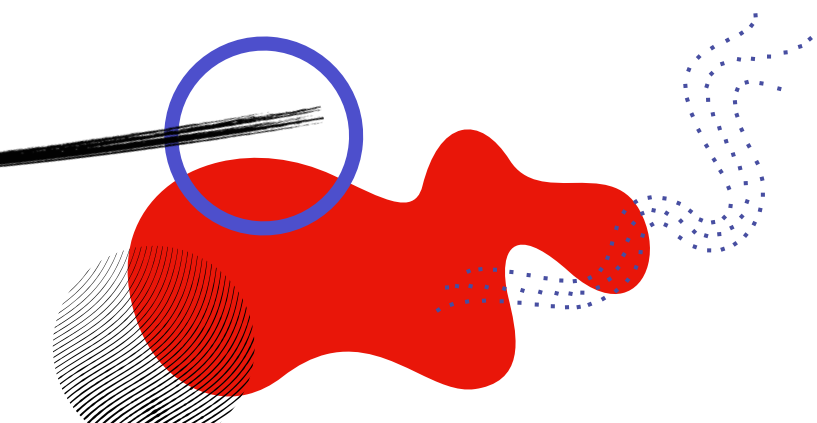
ステップ3: オンボーディングとプロビジョニングの実施

必要なチームメンバー: ITマネージャー、プロジェクトマネージャー

タスクとヒント

- ・ Adobe Experience Managerは、クラウドでの運用に特化して構築されているため、オンボーディングを迅速化、効率化します
- ・ システム管理者には、ウェルカムメールと新しいユーザーを追加する方法の説明書が届きます。追加されたユーザーには、ウェルカムメールとわかりやすい設定ガイドが届きます。

[Adobe Experience Manager Sitesの設定に関する詳細は、こちらをご覧ください。](#)



ステップ4:プラットフォームの設定とカスタマイズ

必要なチームメンバー:フロントエンド開発者、コンテンツオーナー、コンテンツプロデューサー、プロジェクトマネージャー

タスクとヒント

- **サイトテンプレートが自社のニーズに対応できるか判断しましょう。**サイトテンプレートを利用することで、カスタマイズの必要性を大幅に削減または排除し、実装スケジュールを数週間短縮することができます。また、コンテンツオーナーは、技術的な支援が限られていても新しいサイトを設定することができます。[サイトテンプレートの利用方法は、こちらをご覧ください](#)
- **サイトテンプレートを利用できない場合は、Maven Archetype 25+でプロジェクトを設定しましょう。**より複雑なサイトでは、サイトテンプレートの代わりに、Maven Archetype 25+を利用することができます。Maven Archetype 25+で初期設定と一般的なwebページテンプレートの作成をおこない、ヘッダーとフッター用の**エクスペリエンスフラグメントプレースホルダー**を追加し、[コアコンポーネント](#)を構成します
- **Maven Archetypeを利用する場合は、**定義したページテンプレートにコアコンポーネントをマッピングする必要があります。フロントエンド開発者は、必要に応じてそれをカスタマイズすることができます。また、コアコンポーネントに[スタイルシステム](#)を設定する必要があります。スタイルシステムは、コンテンツがどのように表示されるかを定義するものです。フロントエンド開発者とコンテンツオーナーが協力して設定します

- コアコンポーネントのカスタマイズと設定が完了したら、コンテンツオーナーは、Adobe Experience Manager SitesのUIでそれらを使用して、汎用テンプレートのカスタマイズや、ステップ2で定義したwebページの種類のテンプレートを構築できます。
- [Maven Archetypeの使用方法は、こちらをご覧ください](#)。
- **サイトテンプレートまたはMavenのいずれを使用する場合でも、コンテンツワークフローを構成する必要があります。**コンテンツオーナーやコンテンツプロデューサーは、Adobe Experience Manager SitesのUIから、webページの制作と更新のためのワークフローを設定し、自動化できます。たとえば、レビューや承認のための複数担当者向けページ送信、タグ付け、ステージング、公開などを自動化できます。
- Adobe Experience Manager Sitesには、ほとんどの適用例に対応する事前に定義された多数のコンテンツワークフローが用意されています。[詳細は、こちらをご覧ください](#)



ステップ5:ローンチの準備

必要なチームメンバー:プロジェクトマネージャー、コンテンツオーナー、フロントエンド開発者、マーケター、プロジェクトマネージャー

タスクとヒント

- スタイル設定されたコンポーネントを含むページテンプレートと分類基準の準備が整ったら、いよいよコンテンツをサイトに追加します。ステップ4で定義したワークフローがこのプロセスで役立ちます。Adobe Experience Manager Assetsを利用している場合は、適切なコンテンツアセットを容易に検索し、webページに追加できます
- マーケターは、ページのコンテンツやアセットが、自社のメッセージや製品ポジショニングなどと整合性を保っているかを確認し、必要であれば変更を求めます
- コンテンツオーナーとフロントエンド開発者は、ページテンプレートとコンポーネントを継続的に調整します
- プロジェクトマネージャーは、必要なレビューと修正がスケジュール通り進むように管理します



ステップ6:本番稼働

必要なチームメンバー:プロジェクトマネージャー、フロントエンド開発者、ITマネージャー

タスクとヒント

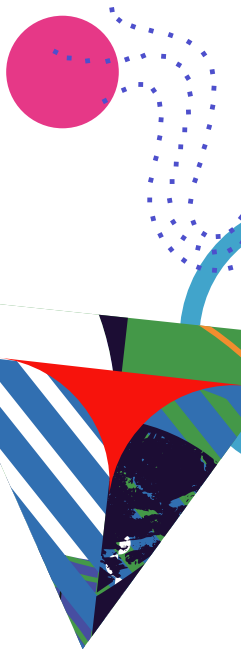
- Digital Foundation Blueprintを利用していれば、自動化機能を利用して、迅速に新しいサイトをローンチし、Adobe Analyticsに統合できます
- 本番稼働の前に、社内ユーザーによるユーザー受け入れテストを実施する必要があります。受け入れテストに関する詳細は、こちらをご覧ください
- また、本番稼働前に、顧客向けサイトのコンテンツと画像が正しいかどうかを注意深く確認する必要があります

ステップ7:フェーズ2を計画

必要なチームメンバー:プロジェクトマネージャー、フロントエンド開発者、ITマネージャー、コンテンツオーサー、コンテンツプロデューサー、マーケティング

ローンチ後は、何がうまくいき、何がうまくいかなかったかを詳細に把握する必要があります。また、思いもよらなかった新しい要件が見つかるかもしれません。たとえば、テンプレートをローカル言語のページに適合させることや、別のシステムからコンテンツにアクセスできるようにする、といった要件が発生するかもしれません。

フェーズ2は、通常、ローンチ時よりも複雑なものになります。また、スケジュールも長くなります。



Adobe Experience Manager Sites 導入の成功に向けて

Adobe Experience Managerの導入を具体的に検討されるようでしたら、アドビの担当者にご連絡ください。実装に役立つ豊富な資料を提供し、各地域の適切なアドバイソリューションパートナーを紹介できます。

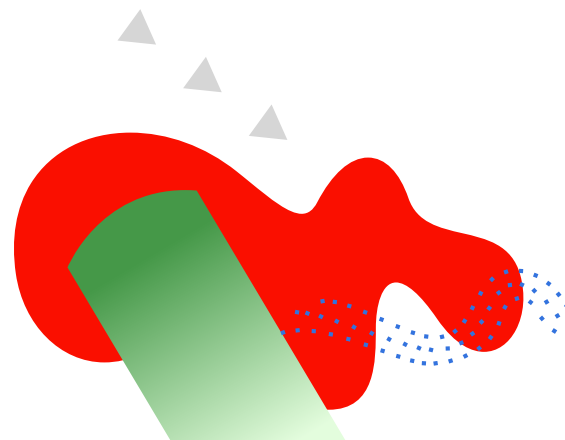
アドバイソリューションパートナーは、通常、特定分野における専門知識と、Adobe Experience Manager Sitesのカスタマイズや導入に関する豊富な経験を有しています。各分野におけるベストプラクティスを提案し、陥りがちな落とし穴を回避して、社内チームのトレーニングを支援することができます。そうしたアドバイソリューションパートナーは、ほぼすべての地域とタイムゾーンで見つけることができます。

明確に定義された実装計画と適切なパートナーからの支援を利用して、Adobe Experience Manager Sitesを容易に実装し、価値創出までの時間を短縮しましょう。

関連リソース

[Adobe Experience Manager Sitesのユーザー事例](#)

[Adobe Experience Manager Sitesのソリューションパートナー](#)



© 2023 Adobe. All rights reserved.

Adobe, the Adobe logo, Adobe Sensei, Creative Cloud, the Creative Cloud logo, Illustrator, InDesign, and Photoshop are either registered trademarks or trademarks of Adobe in the United States and/or other countries.